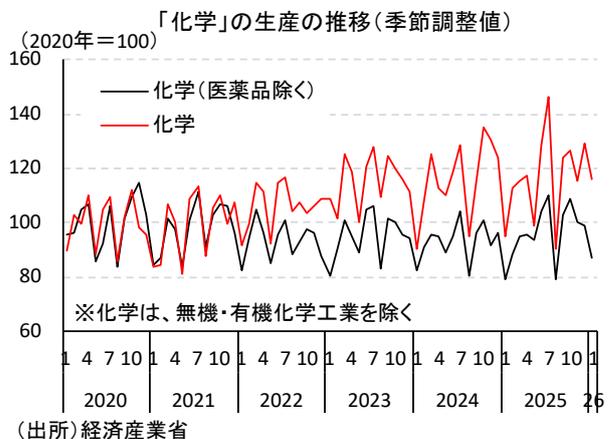
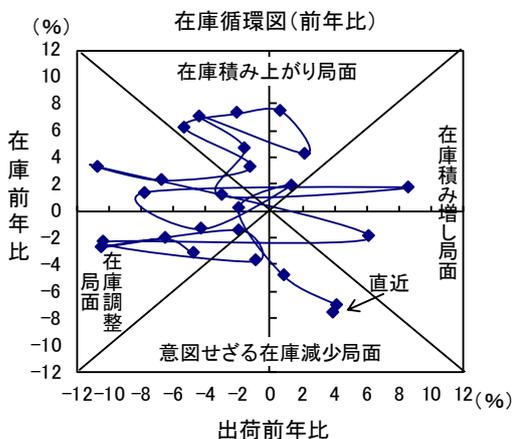
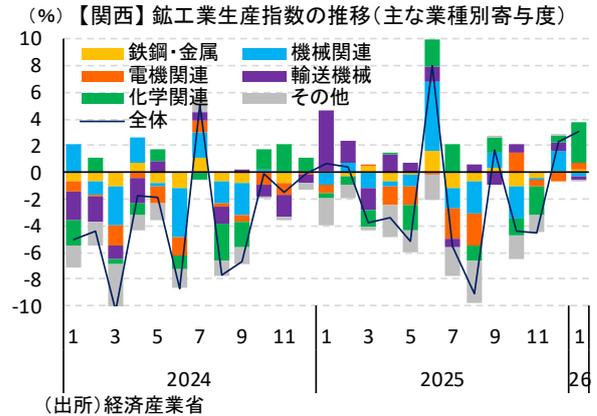
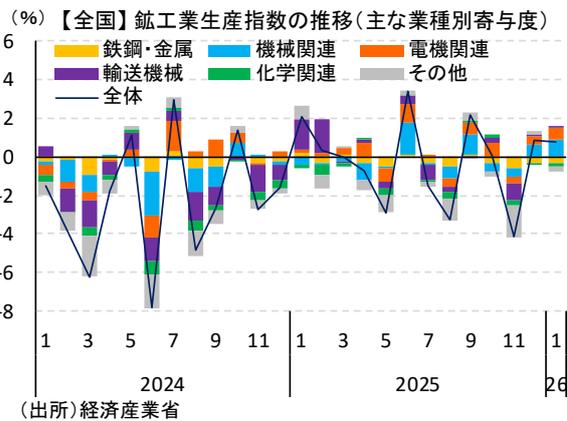


関西の景気トピックス【鉱工業指数（26年1月）】

- 26年1月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）によると、生産（原数値）は前年比で3.1%増と、2か月連続の増加となった。業種別には、前月は機械関連が伸びた一方、今月は医薬品や化粧品といった化学関連が大きく伸び、全体を押し上げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、前月と同様に、「需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する」意図せざる在庫減少局面となっている。これが継続的な動きか否か、来月の動向が注目される。
- 直近の関西の生産動向で注目されるのは、化学関連の増加とみられる。今月は医薬品などが大きく伸びたことで、全体もプラスとなったが、直近は医薬品の輸出動向をみる限り、減少傾向にある。こうした生産と輸出のトレンドの乖離は気になる部分であり、今後の推移が注目される。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。